

令和 3 年度

第 2 期湯前町総合戦略検証結果報告書

## 基本目標・具体的な施策に係る検証結果一覧

### 基本目標1 力強い産業としごと創生

・数値目標

数値目標	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率
認定農業者数	50人	57人	57人				50人	114%
事業所への就業者数	976人	—	1,099人				1,000人	112%

内部検証	<p>①国・県・町の補助事業の周知により認定農業者や後継者等へ農業経営を継続してもらうとともに、労働力やコストの負担軽減や農地集積により専業で農業に取り組む者が増加している。令和3年度においては、法人1件の新規認定もあり、現状の認定農業者数を維持することができた。</p> <p>②令和2年度から継続的な事業所支援を行い、コロナ禍にも関わらず、就業者数の目標値を達成することができた。</p>
------	--

今後の方針	<p>①認定農業者数は目標に達しているが、今後は高齢化により未更新者が増加することが予想されるため、国・県・町の補助事業をさらに周知し、活用してもらうことで認定農業者の継続や新規認定を促す。</p> <p>②現時点では目標値を超えているが、今後、人口減少や少子高齢化により町内事業所数や就業者数が減少していくことが想定される。湯前町事業承継サポート事業などの利用を促すとともに創業支援や企業誘致の推進により、町内事業所の事業継続及び就業者数の維持・拡大を図りたい。</p>
-------	--

#### 策定審議会意見

・今後の方針にそって事業を進め、目標値達成に向けて取り組んでもらいたい。

・重要業績評価指数

施策1 地域産業力の向上のための支援

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率
①認定農業者数	50人	57人	57人				50人	114%
内部検証	国・県・町の補助事業の周知により認定農業者や後継者等へ農業経営を継続してもらうとともに、労働力やコストの負担軽減や農地集積により専業で農業に取り組む者が増加している。令和3年度においては、法人1件の新規認定もあり、現状の認定農業者数を維持することができた。							
今後の方針	認定農業者数は目標に達しているが、今後は高齢化により未更新者が増加することが予想されるため、国・県・町の補助事業をさらに周知し、活用してもらうことで認定農業者の継続や新規認定を促す。							
②林業素材生産量	98,000 m <sup>3</sup>	91,650 m <sup>3</sup>	86,143 m <sup>3</sup>				100,000 m <sup>3</sup>	86.1%
内部検証	7月豪雨災害に伴う林道や作業道の復旧が長引いており、搬出できる限られた区域での素材生産となり、前年度と比べ取扱量が減少したものの、森林組合を始め、林業事業者の努力により素材生産量の大幅減少は阻止できた。							
今後の方針	7月豪雨による林道・作業道復旧工事が令和3年度より開始しているが、完全復旧までには数年かかるため、素材生産においては、厳しい状況は続くが、復旧工事の進捗に合わせて素材生産量も回復すると思われる。また、経済状況では、ウッドショック等の影響により国産材の需要拡大も始まっているため、町有林の立木処分や林道・作業道の復旧工事により、林業事業者の事業確保を支援する。							
③先端設備導入計画認定件数	0件	1件	2件 (累計3件)				5件 (5年累計)	60.0%
内部検証	令和3年9月3日に湯前町導入促進基本計画の変更について国から同意を得て、期間が令和5年3月31日まで延長になった。そのため、令和3年度においても機械装置導入の計画認定が2件となり、目標値まで残り2件と順調に推移している。							
今後の方針	商工会等の関係機関との連携を図りながら、町内事業者への制度周知を行っていく。							

④小規模事業者持続化補助金採択件数	1件	1件	6件 (累計7件)				23件 (5年累計)	30.4%
内部検証	商工会と連携して、補助対象者に対して漏れなく補助金を交付することができ、事業者の新たな販路開拓に向けた意欲向上を促すとともに、事業所の収益向上に寄与することができた。							
今後の方針	補助対象者に対し漏れなく補助金を交付するために、商工会と連携して制度の周知を行っていく。							
⑤新規就農者数	0人	3人	3人				<del>5人</del> 9人 (5年累計) ※R3年度修正	66.6%
内部検証	国の農業次世代人材投資事業や町の後継者等支援事業により、親元就農や新規就農者に対する支援を行うことで、就農に対する意欲を向上させ、新規就農者数が増加した。							
今後の方針	親元就農や新たに農業経営を開始する者に対し、引き続き就農に対する支援を行うとともに、関係機関と協力して、経営に対するサポート等の支援を行う。							
⑥商工業者承継者数	0人	1人	2人 (累計3人)				8人 (5年累計)	37.5%
内部検証	令和3年度から実施した湯前町事業承継サポート事業の申請が2件あり、約10年後に事業承継を検討されている。本事業で事業承継を促進することができた。 ※令和2年度において、1件承継されていた事業者があったため修正。							
今後の方針	商工会と連携して湯前町事業承継サポート事業の周知を継続して行い、事業承継を検討している方へ事業承継の後押しをする。							
策定審議会意見								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工業者承継者数で何年間のうちに事業承継しなくてはならない等の要件はあるのか。ないようであれば、担当課からの指導が必要であるとする。</li> <li>・新規就農者数について2年間で目標値を超えているが、2年度目なら40%程度の進捗になるといいと思う。今回見直しを検討するとのことだが、もう少し精査して目標値を設定したほうがいいのではないかと考える。</li> </ul>								

## 施策 2 安定した雇用創出のための支援

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	R2 年度 (実績値)	R3 年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5 年度 (実績値)	R6 年度 (実績値)	目標値	進捗率
①創業者数 (農林商工業)	1 人	0 人	1 人 (累計 1 人)				5 人 (5 年累計)	20%
内部検証	創業支援の相談窓口を設置し、新規創業者からの相談件数が 1 件あり、商工会等との情報共有も行いながら支援することができた。一方で、コロナ対策事業に注力したため、創業希望者と空き店舗所有者のマッチングや空き店舗改修や法人化のための支援事業には取り組むことができなかった。							
今後の方針	ウィズコロナでの創業支援の相談窓口等を充実させるための検討を行い、商工会等の関係機関と連携して創業支援を行うとともに、空き店舗活用のための支援にも取り組む。							
②若者雇用促進事業の 交付件数	—	—	—				20 件 (5 年累計)	—
内部検証	コロナ対策事業に注力したため、事業に取り組むことができなかった。							
今後の方針	今後、事業内容について財源確保策などの検討を行う。							
策定審議会意見								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべてに言えることだが、財源がなくて事業実施ができないのであれば、この事業を実施した場合に他の事業の予算を減らすなどのバランスをとることになると思うが、その場合は、どの事業に注力していくのか判断が重要になる。</li> <li>・事業実施にあたっては、当然、需要がないと財源が確保できないと思うので、町民に対する PR をしていくことも重要である。</li> </ul>								

### ・基本目標 1 に対する議会意見

議会意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各農業者のニーズは日々変化をしていくため、的確に把握し継続的な支援に努め目標達成に向けて取り組まれない。</li> </ul>

## 基本目標 2 誇れる・選ばれるまち創生

### ・数値目標

数値目標	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率
社会増減数	-11人	14人	30人				31人	96.7%
湯前町に住み続けたい 割合（アンケート結果）	55.5%	56.0%	—				60.0%	—
内部検証	転入者数が122人、転出者数が90人となっており、ともに近年の中でも非常にいい数値となっている。理由としては、新型コロナウイルスや令和2年7月豪雨災害の影響があったことも考えられるが、どの年代の動きが例年と違ったのかなど、詳細な検証が必要だと思われる。							
今後の方針	詳細な検証を基に、転出抑制、転入増加に効果があった施策などの推進を行っていきたい。							
策定審議会意見								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの住み続けたいと答えた人の年代と転出が減少した年代とがリンクしているのかなどの検証も必要だと思う。</li> <li>・各転入者のアンケートに記載してある転入の目的をきちんと把握することも重要である。また、SNS登録者にアンケートを行うのもよいのではないかと考える。</li> </ul>								

・重要業績評価指標

施策1 魅力づくりと発信

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率
①観光入込客数	206,880人	90,840人	110,406人				220,000人	50.2%
内部検証	<p>新型コロナ感染拡大や鉄道被害により、観光施設の閉館をはじめ、ほとんどのイベントの中止及び宿泊助成事業の中止などを余儀なくされたため、入込客を回復することはできなかった。しかし、令和2年7月豪雨災害から復興の第一歩として「くま川鉄道部分運行記念イベント」を開催し、復興に向けて地域が一丸となって取り組んでいる姿を発信することができた。併せて、コロナ禍におけるイベントの在り方を検討することができた。</p>							
今後の方針	<p>ウィズコロナとしての新しいイベントの在り方の構築や人吉球磨観光地域づくり協議会への参画による広域連携、官民協働事業の推進及びSNSやホームページの充実など情報発信力の強化を図って誘客につなげる。</p>							
②宿泊者数	7,849人	3,813人	5,167人				8,567人	60.4%
内部検証	<p>新型コロナ感染症対策として「湯前町宿泊施設支援事業」や町内事業所と連携した「ゆのまえGo to トラベル事業支援金」などに取り組んだが、後者はまん延防止等重点措置の影響により中止を余儀なくされ効果を発揮することができなかった。</p>							
今後の方針	<p>宿泊者数は新型コロナ感染状況により大きく左右され見通しが難しい状況であるが、ワーケーション誘致事業やイベントの開催・誘致などに取り組み、宿泊利用の機会の創出を図る。</p>							
③関係人口数	1,740人	2,370人	2,124人				2,201人	103.6%
内部検証	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により、協働の森づくり活動の縮小及びふるさと会総会や大学との連携事業の中止（尚絅大学分は入っているのか？）などで関係人口の増加にはつながらなかった。ふるさと納税に関しても季節品の発送不可によるキャンセルが80件ほど出たため、前年より減少となった。</p>							
今後の方針	<p>コロナ禍においても関係人口として湯前町に関わりを持ってもらえるようなオンラインイベントなどを検討していく。また、イベントに参加された方たちやワーケーションに参加された企業の方も含めるなど積算根拠の見直しを行っていく。</p>							

④ホームページ閲覧者数	196,800 ページビュー	1,119,501 ページビュー	1,602,120 ページビュー				1,200,000 <del>ページビュー</del> 2,100,000 ページビュー R3年度修正	76.2%
内部検証	アクセス増の要因はカレンダーのアクセス数で、カレンダーのアクセス数以外は微増。新着記事の掲載を増やすことができたが、既存記事の更新が不十分だった。							
今後の方針	全体的に更新できなかつた項目が多いので、順次更新していく。またカレンダーを利用した記事を掲載していく。							
⑤SNS登録者数	—	223 ユーザー	540 ユーザー				1,300 ユーザー	41.5%
内部検証	LINE に関しては、町民の方々への周知が十分にできておらず、登録者数が伸び悩んだ。また、Instagram は更新ができておらず、登録者が思うように増加しなかつた。							
今後の方針	関係機関や各教室などと連携しながら周知を行いながら、各配信者の知識・技術の向上に努めて登録者数の増加を図る。また、SNS の運用方針を見直し、適宜に情報を掲載し、登録者数を伸ばす。							
⑥若者会議による施策や事業の提案数	—	—	0 件 (累計 0 件)				5 件 (5 年累計)	—
内部検証	新型コロナウイルス感染拡大の影響により会議を 1 回しか開催できなく、提案内容の検討にまで至らなかつた。							
今後の方針	新型コロナウイルスの感染拡大状況を見ながら会議を開催し、施策や事業の提案までつなげる。							
⑦まんの町としての充実度	—	—	—				80%	—
内部検証	新型コロナウイルス感染拡大の影響でまんが美術館の閉館が続き、漫画フェスタやまんが教室も実施できていないためアンケートを取ることができていない。							
今後の方針	新型コロナウイルスの感染拡大状況を見ながら、イベントや関連施設でアンケートを実施していく。							

⑧入館者数 (まんが美術館・図書館)	12,169 人	2,014 人	1,487 人				13,210 人	11.2%
内部検証	まんが美術館・図書館ともに新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、閉館や町民限定の利用制限を余儀なくされた期間が長く、まんが美術館においては、実質 3 カ月間 (R3.10 月～12 月/企画展 1 回) の開館となり、目標を大きく下回った。							
今後の方針	コロナウイルスの感染防止対策 (消毒、検温、来館者の記名) を実施しながら、通常営業を再開していく。まんが美術館事業を専門とする地域おこし協力隊 2 人の着任やまんがアドバイザー会議新設などのほか、開館から 30 年の節目に新たな事業展開を模索することとする。							
策定審議会意見								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宿泊者が調べると湯楽里は出てくるが、県外の方は九州の人でも湯前町がどこにあるのかわからない。町の名前を売ることが必要である。</li> <li>・ 地域資源のなかでも、潮湯は人吉球磨の中には湯楽里にしかないものであるため、そういった本町にしかない売りをもっと PR した方がよい。さらに、その PR のやり方についても、今後は若者会議などで議題にしていくという方法もあると思う。</li> </ul>								

## 施策 2 移住・定住の促進

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	R2 年度 (実績値)	R3 年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5 年度 (実績値)	R6 年度 (実績値)	目標値	進捗率
①転入者数 (住民基本台帳)	111 人	108 人	122 人				148 人	82.4%
内部検証	地域おこし協力隊や空き家リフォームなどの施策を介しての転入もあったが、詳細については近年の転入の傾向などと比較して内容の確認を行いたい。							
今後の方針	詳細な理由の確認を行い、本町の転入の強みとなる部分について施策の検討などを行っていききたい。							
策定審議会意見								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会増減数と同様に分析や検証が必要だと思われる。</li> </ul>								

施策3 安全・安心で快適な住みよいまちづくり

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	R2年度 (実績値)	R3年度 (実績値)	R4年度 (実績値)	R5年度 (実績値)	R6年度 (実績値)	目標値	進捗率
①防災リーダー育成 (防災士の人数)	4人	3人	3人				14人	21.4%
内部検証	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、受講予定であった防災士の講習が中止となり令和3年度においては新たな防災士の育成ができなかった。							
今後の方針	令和4年度から地区防災計画の全地区作成を目標として、各地区に協力を求めることとしている。地区防災計画の作成に合わせて、防災リーダーとなる防災士の育成を行い、自主防災組織の防災活動の活発化を図る。							
②健康寿命	男性 67.5 歳	男性 67.0 歳	—				男性 70.4 歳	95.1%
	女性 74.0 歳	女性 72.4 歳	—				女性 75.0 歳	96.5%
内部検証	令和3年度は調査を行っていないため、健康寿命の測定が行えなかった。しかし住民健診受診率は新型コロナの影響で低下した令和2年度から、令和3年度は回復傾向となった。各公民分館の通いの場は今年度もコロナの影響で活動休止した分館が半数程度あり、高齢者の心身の衰えが懸念された。							
今後の方針	若年層の住民健診受診勧奨に力を注ぎながら、全体的な受診率アップを図る。高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に向けて、本町の高齢者の健康課題について整理し、具体策を協議する。							
③地域コミュニティ活動参加者数	6,377人	2,420人	5,401人				8,800人	61.3%
内部検証	新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、体育施設の利用者を制限するなどの措置を行ったが、各団体の活動や地域活性化企業人事業の実施により、新しい生活スタイル様式実践のもとスポーツ等提供の機会を創出できた。							
今後の方針	新型コロナウイルス感染防止対策を実施しながら、地域住民の健康づくりのため、住民のニーズを把握し、各団体及び地域活性化企業人事業と連携しながら事業を展開していく。							

④町営住宅建設戸数	166戸 (単身向け6戸)	166戸 (単身向け6戸)	164戸 (単身向け6戸)				172戸 (単身向け6戸)	95.3%
内部検証	令和3年度は老朽化し危険性のある2戸を解体したため、前年度より2戸減となった。							
今後の方針	令和4年度において、新規住宅2戸の建設の着手をし、令和5年度に入居者の募集を行うとともに、更に新規住宅建設に向けて準備を進める。							
⑤個人住宅建設戸数	6戸	5戸	7戸				10戸	70.0%
内部検証	令和2年度、令和3年度から建設戸数を増加させることができた。球磨スギ・ヒノキ需要促進事業の新築住宅申請件数も5件と増えており、施策の効果があったと思われる。							
今後の方針	事業内容の見直しなどを行いながら、目標値が達成できるように推進していきたい。※見直しの内容を具体的に記載できないか？							
策定審議会意見								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町営住宅に入りたくても空きがなく、入れないという話を聞いた。</li> </ul>								

・基本目標2に対する議会意見

議会意見	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係人口、SNS登録者数の算定根拠を町民にわかるように示されたい。</li> <li>・まんの町としての充実度について、基準値や実績値がないため、評価基準を明確にされたい。</li> <li>・若者会議等については、オンライン会議での実施も検討されたい。</li> <li>・移住・定住施策をとりまとめ、SNSやホームページを充実させて積極的な情報発信に努められたい。</li> <li>・防災リーダーの育成(防災士)の目標値が14人となっているが、全地区に防災士を配置するなら目標値を再検討されたい。</li> <li>・民間活力(地域活性化企業人等)を生かした健康スポーツの推進に、継続して取り組まれたい。</li> </ul>	

### 基本目標 3 未来を担う若い世代の希望創生

#### ・数値目標

数値目標	基準値	R2 年度 (実績値)	R3 年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5 年度 (実績値)	R6 年度 (実績値)	目標値	進捗率
年少人口率	11.4%	10.4% (住基台帳数値の ため参考)	10.8%				11.5%	93.9%
内部検証	令和 2 年度国勢調査の実績値が報告されたが、前回から 0.6%減少している。主な要因としては出生数の減少が考えられる。							
今後の方針	出生数の増加を推進するだけでなく、子育て世代の転入を促して年少人口率の増加を目指す。							
策定審議会意見								
・今後の対策の中で、子育て世代の転入を促すとあるがマッチングイベントなどの婚活イベントを開催するなど人口を増やす施策も必要であると考える。								

#### ・重要業績評価指標

#### 施策 1 子どもを安心して生み育てられる環境の整備

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	R2 年度 (実績値)	R3 年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5 年度 (実績値)	R6 年度 (実績値)	目標値	進捗率
①出会いの場への参加者数	2 人	—	—				50 名 (5 年累計)	—
内部検証	令和 2 年度に引き続き令和 3 年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響によりイベントの開催ができなかった。							
今後の方針	新規事業として町独自の婚活イベントを実施し、参加者の増加を図る。							

②子育て世帯数	250 世帯	214 世帯	237 世帯				250 世帯	94.8%
内部検証	<p>子ども・子育て支援事業計画に基づく各種支援の継続実施と児童福祉施設への新型コロナ感染予防対策に助成を行うことで、家庭と仕事の両立を図りながら、継続的に子育てできる環境が提供できた。</p> <p>コロナ禍における国策として実施された臨時特別給付金や低所得の子育て世帯やひとり親世帯への生活支援特別給付金の支給を行い、子育て世帯の経済的負担軽減に寄与することができた。</p>							
今後の方針	<p>子ども・子育て支援事業計画等に基づく各主要事業を継続しながら、検証結果等を次期展開へ繋げていく。</p> <p>児童数等の推移を見込みながら、児童福祉施設等の長期的ビジョンを関係者と検討していく。</p>							
策定審議会意見								
<p>・出生数が少なく驚いた。今後、子育て世帯に転入してもらおう施策などの必要性を強く感じる。</p>								

#### 施策 2 湯前ならではの特色ある教育の展開

重要業績評価指標 (KPI)	基準値	R2 年度 (実績値)	R3 年度 (実績値)	R4 年度 (実績値)	R5 年度 (実績値)	R6 年度 (実績値)	目標値	進捗率
①小中一貫教育に対する保護者の満足度	—	73%	74%				75%	98.6%
内部検証	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響で活動が制限される中、可能な範囲での取り組みとなったが、保護者の評価は微増となり、今後のさらなる取り組みへの期待の声も聞かれた。</p>							
今後の方針	<p>一小一中の強みをさらに生かし、取り組みの幅をさらに広げていく。</p>							

②地域学校協働活動参加人数	—	195人	709人				600人 720人 R3年度目標修正	98.4%
内部検証	令和2年度の設立以来、着実に活動が活発になってきており、地域と学校、地域と児童生徒の関わりが増えてきている。							
今後の方針	現在は、推進員やコーディネーターが学校に赴いて活動する機会が多いが、今後は児童生徒が地域（学校外）に出て活動する機会を作るなど、活動の幅を広げていく。							
策定審議会意見								
・子どもが減るにあたって、部活動の運営ができなくなると思う。今後の方針が重要である。								

・基本目標3に対する議会意見

議会意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫教育に対する保護者の満足度の目標値が低い設定（75%）となっているが、目標値を再検討されたい。</li> <li>・地域学校共同活動参加者人数が評価指標になっているが、取り組み内容が不明なため町民に分かるように説明を記載されたい。</li> </ul>

・総合戦略検証結果全体に対する議会意見

議会意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・進捗率が目標に対して低率にとどまる項目も見受けられ、評価がしづらい面があるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響が大きかったためと考えられるので、引き続き積極的に事業に取り組んでいただきたい。</li> </ul>